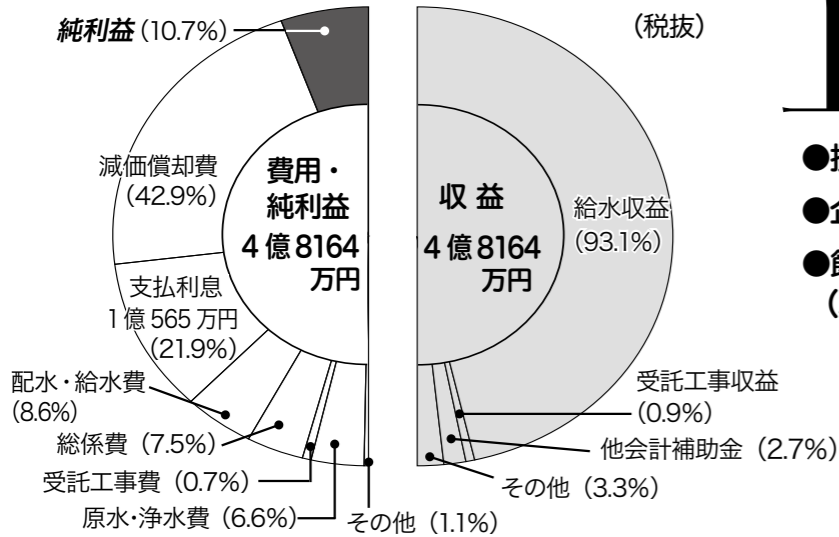


19年度飯山市上水道事業の収益と費用・純利益

平成19年度 上水道決算

- 損益(収益的)収支は黒字
- 企業債(借金)残高は約30億7000万円に
- 飯山市水道ビジョンを策定(水道事業の中・長期的な基本計画)



| 費用・純利益の内訳 | | 収益の内訳 | |
|-----------|----------------|--------|-----------------|
| 純利益 | 5128万 (3.7%減) | 給水収益 | 4億4812万 (1.0%減) |
| 減価償却費 | 2億675万 (0.0%) | 受託工事収益 | 452万 (87.8%減) |
| 支払利息 | 1億565万 (6.2%減) | 他会計補助金 | 1303万 (0.5%減) |
| 配水・給水費 | 4149万 (13.1%増) | その他 | 1597万 (9.3%増) |
| 総係費 | 3616万 (6.9%増) | 計 | 4億8164万 |
| 受託工事費 | 336万 (89.7%減) | | |
| 原水・浄水費 | 3186万 (1.0%増) | | |
| その他 | 509万 (49.4%減) | | |
| 計 | 4億8164万 | | |

■貸借対照表(バランスシート)

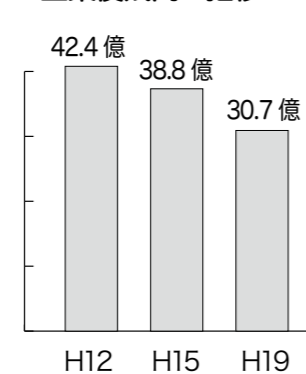
| 借方 | | 貸方 | |
|----------|----------|---------|----------|
| 土地 | 7179万 | 引当金 | 2492万 |
| 建物 | 3億3972万 | 固定負債計 | 2492万 |
| 構築物 | 50億7148万 | 未払金 | 1599万 |
| 機械及び装置 | 3億6010万 | その他流動負債 | 54万 |
| 車両及び運搬具 | 19万 | 流動負債計 | 1653万 |
| 工具器具及び備品 | 63万 | 自己資本 | 11億4818万 |
| 建設仮勘定 | 59万 | 借入資本 | 30億6842万 |
| (無形固定資産) | 13万 | 資本計 | 42億1660万 |
| 固定資産計 | 58億4463万 | 資本剰余金 | 17億6464万 |
| 現金預金 | 2億6411万 | 利益剰余金 | 1億1210万 |
| 未収金 | 1930万 | 剰余金計 | 18億7674万 |
| 貯蔵品 | 665万 | 負債・資本合計 | 61億3479万 |
| その他流動資産 | 10万 | | |
| 流動資産 | 2億9016万 | | |
| 資産合計 | 61億3479万 | | |

■19年度 飯山市上水道事業の概要

| | |
|------------|-------------------------|
| 年度末の給水戸数 | 6445戸 |
| 年度末の給水人口 | 1万8275人 |
| 年間の有収水量 | 210万8028 m ³ |
| 1か月の平均有収水量 | 17万5669 m ³ |
| 年間の総配水量 | 258万2012 m ³ |
| 1か月の平均配水量 | 21万5168 m ³ |
| 有収率 | 81.6% |
| 供給単価(※1) | 212.58円 |
| 給水原価(※2) | 201.96円 |

※1…有収水量1m³あたりの水道料金の売上
 ※2…有収水量1m³をつくるための費用

■企業債残高の推移



平成19年度の業務概要について公表します。平成19年度の配水量(つぐった水の量)は258万トンで、そのうち有収水量(料金に結びついた水の量)は211万トンでした。また、有収率(配水量に対する有収水量の割合)は81.6%で、前年度よりも3.2ポイント下がりました。

収益的収支(単年度の維持管理にかかわる収入と支出、消費税抜き)では、事業収益が前年比6.9%減の4億8164万円、事業費用が前年比7.3%減の4億3036万円になりました。結果、平成19年度の純利益は、前年比3.7%減の5128万円になりました。

資本的収支(配水管の整備、施設の建設・更新等にかかわる収入と支出、消費税込み)の収入は、他会計繰入金や工事負担金等の総額で2186万円に、支出は建設改良費で3028万円、企業債償還金の3億85万円を合わせた総額で3億3113万円になりました。建設改良費の主なものは、配水水圧の適正化のため県道箕作飯山線(大深)配水管布設工事、木島地区の石綿管布設替工事、配水池の流量計、水位計の更新等です。また過去に借り入れた利率の高い企業債の繰

上償還も行いました。策定した飯山市水道ビジョンは、自らの事業の現状と今後の見通しを分析評価し、目指すべき将来像を描き経営基盤の強化、効率的な施設維持管理に役立てるものです。今後このビジョンを推進し、安全、安心、安定、おいしい水の供給と、健全な事業運営に努めますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成19年度 普通会計決算 主な使いみち

特徴的な事業、生活に身近な事業 (1万円未満 四捨五入)

消防費

- 消防団の運営に(7068万)
- 防災のための訓練、災害対策に(616万)
- 消防防災設備の整備・管理に(1154万)

衛生費

- がん検診に(1413万)
- 予防接種に(1410万)
- 燃えるごみ・燃えないごみの収集などに(2818万)
- 古紙・ガラスびん・ペットボトル・プラ製容器包装の回収資源化などに(2277万)

教育費

- 小中学校でのスキー購入、スキー教室開催などに(139万)
- 教員加配による少人数指導により学力に応じたきめ細かな指導をするために(1000万)
- ふるさと館での企画展・講座・体験教室・見学等を通じた市民のふるさと学習推進のために(122万)
- 図書館の図書等資料の購入などに(553万)

農林水産業費

- 日本一のアスパラガス産地維持、立枯症回避のための新植に要する経費補助に(234万)
- 郷土食・薬膳料理の普及・啓発などに(25万)
- 山林の整備に(718万)

商工費

- 企業訪問など企業誘致活動のために(274万)
- 道の駅「花の駅千曲川」の駐車場拡張に(2093万)
- 観光宣伝や市民リフト券発行など市内観光地の活性化に(1200万)

総務費

- 「子育ておうえん券」による子育てを行う世帯の経済的負担の軽減および市内商店街の活性化に(2245万)
- 3世代同居家族への温泉入浴券の配布に(150万)
- 「広報飯山」の発行に(334万)
- 市内10地区の活性化センター運営に(1244万)
- 円滑な行政運営のための区長への行政事務委託費(1945万)
- NPO活動の推進に(117万)

民生費

- 低所得の高齢者・障害者等世帯への灯油代を一部補助し原油高による負担増の軽減を図るために(340万)
- 須多峰介護センター、福祉センターの移転整備に(1億6725万 ※完成は20年度)
- 老人福祉センター湯の入荘への運営補助、老人クラブ活動への補助等、高齢者の生きがいづくりや社会活動参加等を進めるために(1851万)
- 乳幼児、母子・父子家庭、障害のある方、低所得・独り暮らしのお年寄りなどの医療費給付に(1億446万)

土木費

- 区画整理事業の道路築造・移転補償、在来線飯山駅の新駅統合のための調査等に(17億8687万)
- 協働のみちづくり事業に(3146万)
- 協働のみちづくり事業に(724万)
- 交通安全の啓発、交通安全指導に(113万)
- 道路等除雪に(4億5565万)
- 都心でのセミナーや飯山での体験ツアーなどを通じた飯山への移住・定住推進のために(544万)
- フラワーロードの整備に(412万)
- 城山公園の桜の植樹・樹勢回復に(86万)
- 住宅の耐震診断に(258万)



総務費 公共交通運行事業

民間バス事業者が運行しないバス区間に菜の花タクシーを走らせたほか、赤字路線の維持など交通弱者の足の確保を図りました。



商工費

健康をキーワードにした旅産業推進事業

森林セラピー基地がグランドオープン。飯山の自然を健康に生かす取り組みが行われています。



農林水産業費

スローフード推進事業

先人が自然と共に工夫を凝らして作り上げた郷土食を、「味の文化財」として市内外に発信しました。



教育費 ふるさと学習推進事業

市ふるさと館では飯山の自然や歴史をテーマにさまざまな企画展を行いました。